



## 地域及び各種団体との意見交換について

令和5年3月24日



# 実施状況

---

## ① 地域との意見交換

地区名	開催日	参加者数	地区名	開催日	参加者数
東地区	10月14日	7人	北新庄地区	10月19日	7人
西地区	11月10日	9人	味真野地区	11月 4日	7人
南地区	10月26日	6人	坂口地区	12月13日	8人
大虫地区	10月28日	11人	岡本地区	10月26日	14人
王子保地区	12月14日	20人	服間地区	12月 8日	13人

## ② 各種団体との意見交換

地域公共交通会議(事業者側) 10月24日 6人

# 東地区（1）



種別	発言趣旨
中心市街地	住宅地として整備するといいいのではないか。
	道路拡幅や開発がしづらい地域ではないか。（土地所有者の協力、土地と建物の所有者が違う場所が多い等）
	先ず、空き地と空き家の問題を解決しないといけないのではないか。
	中心市街地で商業機能を維持するなら、もう対策を始める必要があるのではないか。
	10年後まで事業継続可能と回答した事業者は2割だった。（地区アンケート）
	個別に光っている事業者はいるが、空き店舗が目立っており、商店街が成り立ちにくくなっている。発想転換が必要ではないか。
	駐車場が少ないことは、商店街が寂れる本質的な原因ではないのではないか。

## 東地区（2）

種別	発言趣旨
観光	新駅開業をきっかけに、産業から観光や商業へ意識を転換するといいいのでは。
	新幹線利用客をまちなかへ誘導するまちづくりができないか。
	まちの資源を観光に活用できないか。（寺社、公会堂記念館、伝統産業、越前国府、村国山、桂町の松並木の復活等）
	大型バス用の駐車場が必要ではないか。
道路	本田線（都市計画道路）を整備してほしい。
	消雪が整備されないと定住化につながらない。
安心安全	自主防災を支える若い世代が少なくなっている。
	避難所（東公民館）へアクセスしづらい町内がある。
	低い土地への浸水対策が必要ではないか。
	日野川堤防の決壊対策が必要ではないか。

# 西地区（1）



市HPより

種別	発言趣旨
地域資源	インフラが整備されている地域だと思う。
	中央公園も近く、いい住宅地だと思う。
	河濯線が整備された影響か、牧井手公園は利用者が多くなった。
人口減少・コミュニティ	人口の増減に地区内でも差があり、格差が生じている。
	若い世代、子どもが減り、子ども会が構成できない町内もある。
	コミュニティを維持するため、人口が減った町内同士で自主的にグループを作っている。
	行政区や地区の区割りを見直せるとよいのではないか。

## 西地区（2）

種別	発言趣旨
空き地等	空き地や空き家ができて、大きさや形状、解体費用が理由で、活用が進まない場合がある。
	土地と建物の所有者が違うところが多いため、開発が進まないのではないかと。
安全安心	冬の災害時の避難のため、避難所付近の道路に消雪を整備してほしい。
これからのまちづくり	にぎやかなまちよりも、静かに暮らせるまちがよい。
	歩いて暮らせるまちにシフトしてほしい。
	郊外に出ていっても、30年後にはまた戻ってくる（循環）という考え方もある。
	文化財がたくさん残っているので活用できないか。
	地域コミュニティがあるまちにしていけないといけない。

# 南地区（1）



市HPより

種別	発言趣旨
人口減少・コミュニティ	若い世代が別の土地へ家を建てるので、核家族化が進んでいる。
	高齢者の一人暮らしが増えている町内がある。
	人口減でまちなかが寂れるのは、防犯上も問題である。
	コロナ禍で地域活動や若い世代とのコミュニケーションが減ってしまった。
	アパートが増えてきたが、新しい住民(外国人も含む)との交流が難しい。
	自治振興会活動をしているのは、県外から帰ってきた方が多いのではないか。
商業施設	日用品を買うスーパーがないので不便である。
	高校生が立ち寄るようなところがない。

## 南地区（2）

---

種別	発言趣旨
道路	狭い道路や段差のある歩道が改善されるとよい。
	幼稚園や中学校の周辺道路は送迎の車が多く、危険な場合がある。
在来線（現JR）	第3セクター化され、畷町に新しい駅ができると、商工高校の学生が増え、活気が出るのではないかな。
	新しい駅の前に商業施設ができるとよい。
	新しい駅ができると、紫式部公園の利用者も増えるのではないかな。
	新しい駅から紫式部公園と日野川河川敷を結ぶと面白いのではないかな。
	新しい駅には、P&R駐車場や駐輪場も必要だろう。



# 大虫地区（1）



種別	発言趣旨
地域資源	鬼ヶ岳は、駐車場が足りないくらい登山者が訪れている。
	大虫神社は2,000年の歴史がある。
	石神の湧水は、「ふくいのおいしい水」に認定されている。
	地域資源を活用した活動（探訪マップ、ふるさとカルタ、スタンプラリー）を行っている。
	地域の観光スポットを維持・整備するには費用が必要である。
人口減少等	都会で就職、結婚してしまうと、地元へ戻ってこない。
	企業が事業所周辺での住宅取得を支援するとよいのではないか。（立地地域の人口増、渋滞解消につながる）
	耕作放棄地が増えている。

## 大虫地区（2）

---

種別	発言趣旨
商業施設	食料品店はあるが、衣料品店や家電量販店がない。
	外国人の割合が高くなり、ブラジル系のお店が増えてきた。
道路	南北の移動はしやすいが、東西の移動が不便である。（JR武生駅や越前たけふ駅）
	広域農道の4車線化で、地区が分断されると心配する人もいる。
	広域農道の4車線化で地区外から来る人の便利はよくなるが、歩行者（子どもや高齢者）の安全が懸念される。

# 王子保地区（1）



『文化財からみる越前市の歴史文化図鑑』より

種別	発言趣旨
地域資源	交通の便がいい(通過するだけでなく立ち寄ってもらえる場所ができるとうい)。
	日野山、大塩八幡宮、白崎公園、松ヶ鼻園地等の今ある地域資源を有効活用、拡充するとういのではないか。
	いいところはあるが、アクセスやPRが弱いのではないか。
人口減少・コミュニティ	用途地域以外の住宅密集地も対象となる住宅の補助制度があれば、地区の維持につながるのではないか。
	スーパー等がなくなっているため、交通弱者のための対策が必要ではないか。
	子どもが減っているので、学校の統廃合を検討した方がよいのではないか。
	農業従事者が減っているので、農振地域の見直しをしてほしい。

## 王子保地区（2）

種別	発言趣旨
王子保駅	地区の拠点的な場所になるといいのではないか。（周辺に住宅地や公園、スポーツ施設を整備、各地域資源へのアクセスポイント等）
	第3セクター化が活性化するきっかけにならないか。
道路	王子保駅前の道路がまっすぐ通り抜けられるようになると、国道へのアクセスがよくなるのではないか。
	県道中小屋武生線を整備してほしい（中平吹町と下平吹町付近）。
	国道や県道に歩道や消雪施設がない場所があり、子どもの通学が心配である。
安全安心	大塩谷川や松ヶ鼻用水の浸水対策が必要ではないか。

# 北新庄地区（１）



種別	発言趣旨
人口減少・コミュニティ	地域活動の参加者が減少し、高齢化している。
	児童数が減少しているため、校区変更を検討してもいいのではないかと。
	農業の後継者が不足しているため、耕作放棄地が増えるのではないかと。
	農振地域が広いので、開発が進まない。
	人口減少対策として、市街地だけでなく郊外にも住宅関係の補助があるとよい。
	幹線道路の整備が進めば、人口減少に効果があるのではないかと。

## 北新庄地区（2）

---

種別	発言趣旨
道路	中新庄瓜生線(都市計画道路)を整備してほしい。
	東西の幹線道路は整備されたので、次は南北の道路を整備してほしい。
安心安全	幹線道路の整備により事故が増えたため、安全対策が必要ではないか。
	住宅密集地を流れる河川の浸水対策を行ってほしい。
公共施設	集落排水施設が老朽化し接続できる余地もなくなってきたので、公共下水道を整備してほしい。
	地区内に大きな公園がない。

# 味真野地区（1）



市HPより

種別	発言趣旨
地域資源等	味真野小学校の桜は地区のシンボルである。
	武衛山はきれいに整備されているので、登山者が多い。
	指定文化財が多く残っている地区である。
	県道菅生武生線をサイクリングで利用する人が多い。
	地域資源の活用のために、施設や観光ルート等のメンテナンスや、維持管理への支援が必要である。
	コロナ禍で体験型の修学旅行になっているので、ナイフビレッジや越前和紙等のものづくりの施設が連携できるとよい。
	越前たけふ駅開業により、交流人口を呼び込める可能性がある。

## 味真野地区（2）

---

種別	発言趣旨
人口減少	生活に必要な施設が少なくなっており、不安を感じる。
	空き家が増えている。
交通	免許返納後の移動のため、コミュニティバスを充実させてほしい。
	越前たけふ駅に周遊バスやレンタサイクルを整備するとよいのではないか。



# 坂口地区



種別	発言趣旨
地域資源	都会の人に「心休まる良いところ」と言われた。
	民泊やトレイルランによって知名度がUPし、地区の良さを再認識させられる。
	教育旅行の生徒が、トノサマガエル、アマガエル、ドジョウを見て感動している。
	素晴らしい自然をいかに保存していくかを考えないといけない。(山の手入れ等)
コミュニティ	自然やゆとりある生活を求めて移住してきた方が、新しい移住者を呼ぶ現象が起きている。
	移住者を温かく見守り、理解者として積極的に関わっていくことが大事。
	地域活動によりコミュニティが形成されているのではないか。
	高齢者向けに「さかのくち買い物号」を月に2回運行している。

# 岡本地区（１）



市HPより

種別	発言趣旨
地域資源	伝統工芸（越前和紙）。
	和紙の里の3館は平日でも混んでいる。
	伝統的行事の担い手の確保が難しくなっている。
	五箇地区を重要伝統的建造物群保存地区にして、日常生活が送れるような形でまちなみを保存してほしい。
	広大な和紙の里公園を平地の公園と違ったアプローチで活用できないか。
	ハツ杉千年の森、今立南部公園をもっと活用できないか。
人口減少等	人口減少＝地域の衰退であるので、市として方向性を示してほしい。若い世代が残れば、何でもできる。
	所有者が分からなくなった農地がある。いずれ空き家もそうなるのではないか。
	空き家となった伝統的な建築物を活用できないか。

## 岡本地区（2）

---

種別	発言趣旨
道路・交通	国道417号は交通量が増えている危険である。
	国道417号を誘客につながるようコスモスや桜を整備してはどうか。
	新幹線新駅には、バスやタクシーよりもレンタカーの方がいいのではないか。
安心	治水対策(砂防ダム)に不安がある。
環境	都市計画でも、森林資源の活用やエネルギー問題にふれるべきではないか。

# 服間地区（１）



種別	発言趣旨
地域資源	小次郎公園が憩いの場所になるとよい。
	小次郎公園の桜(20種類)をもう少し元気にしてほしい。
	権現山の樹木を伐採して、山頂から再び三国港が見えるように整備できないか。
	美味しい水を活用した活動(ふくまブレンドの珈琲)を行っている。
人口減少等	子どもや孫に帰ってきてもらうには、子育て環境を整備する等の魅力あるまちづくりが必要ではないか。
	住民が利便性(交通等)を感じないと、定住化は進まない。
	高齢者の居場所づくりが必要である。
	空き家がとても多い。立派な家が空き家になっている。

## 服間地区（２）

---

種別	発言趣旨
交通	コミュニティバスよりもデマンド交通に資源を投入してほしい。
	清水谷トンネルができて走りやすくなったが、交通量が増えて危険度が増した。
行政計画	公共施設の統廃合は、計画的に行ってほしい。
	総合計画のウェルビーイングの考え方はいいと思った。

# 地域公共交通会議（事業者側）



## 発言趣旨

ドライバーの高齢化、人手不足が深刻である。

公共交通の空白地区だけでなく、空白の時間帯も生じてきている。

残す路線を選択する時期にきているのではないか。

越前たけふ駅に路線バスのターミナルを作るなら、ドライバーが確保できないので、どこかの路線を縮小しなければならない。

武生駅と越前たけふ駅の両方にタクシーを待機させるのは難しいかもしれない。

自治体と各事業者が、地域、時間、交通手段のマッチングを考えないといけない。

まちづくりから公共交通をどう配置していくか考えるべきではないか。

官がハード整備、民が運営する上下分離等、公共交通をみんなで担っていくやり方もある。